

令和3年12月24日開催

文教経済常任委員会資料【所管事務調査】

産業観光交流部が所管する第三セクター等の経営健全化の
推進について 1～4

所 管 委 員 会	文教経済常任委員会
提 出 課	産 業 政 策 課 施 設 経 営 管 理 室

産業観光交流部が所管する第三セクター等の経営健全化の推進について

1 (株)よしかわ杜氏の郷の民営化の取組について

(1) 近年と今期（上半期）の経営状況について

(単位：千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度※1	令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度（上半期）
売上高	92,272	92,445	66,017	80,666	55,335	24,610
売上原価	57,226	64,386	40,298	56,664	46,497	26,821
販売費及び一般管理費	39,289	38,005	29,652	33,040	24,800	12,505
経常利益	△3,817	△8,241	△2,982	△4,975	△6,701	△12,304
当期純利益	△4,357	△8,531	△3,199	△5,265	△6,991	△12,305
資産	136,744	126,135	123,250	117,179	114,687	－
負債	16,421	14,342	14,656	13,850	18,350	－
純資産	120,323	111,793	108,594	103,328	96,337	－
（うち資本金）	184,150	184,150	184,150	184,150	92,075※2	－
（うち利益剰余金）	△63,827	△72,357	△75,556	△80,822	△6,991※2	－

※1 決算期変更により、平成 30 年 7 月から平成 31 年 3 月までの 9 か月決算

※2 減資（92,075 千円）により、前年度比 73,831 千円減

(2) 今後の経営予測

- ・ 日本酒の売上げ規模縮小や新たな販路の開拓、製造原価等の見直しが進まなかったことなどの要因により、売上高は平成 18 年度の 1 億 2,986 万円をピークに年々減少し、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響も重なり 5,533 万円まで落ち込んだ。
- ・ 今年度も上半期終了時点で 1,230 万円の損失となっており、直ちに債務超過とはならないものの、抜本的な経営改革に取り組む必要がある。

(3) 第三セクターとしての課題

- ・ 平成 20 年以降、副市長が社長を務めているが、12 年間で 7 回交代しており、また、社長を含む 3 名の取締役は非常勤であり、多くの酒蔵において経営者、従業員が専念して経営努力を重ねても厳しい経営環境にある中で、中長期的なビジョンを持ちつつ、縮小傾向の市場においてアフターコロナを見据えた経営を担うのが難しい体制となっている。
- ・ 近年の日本酒業界では吟醸酒等の高付加価値な製品の割合が増加しており、売上げの増加には、一定の販路を持つとともに、特徴的な商品開発や斬新な取組をしやすい機動的な体制が望まれる。
- ・ また、創業から 20 年余りが経過し施設、設備が老朽化しており、今後更新が必要である。

(4) 第三セクター等評価委員会の評価・意見

- ・ 有識者等で構成する第三セクター等評価委員会では、評価を開始した令和 2 年度、令和 3 年度に「課題あり」の評価を受けており、黒字化に向けた製造原価等の見直し、中長期的なビジョンの策定の必要性とともに、民営化の検討を強く指摘されている。

(5) 市の今後の対応について

- ・ 市による出資、解散又は民間譲渡の選択肢がある中で、地域の酒造り文化の継承と従業員の雇用継続を念頭に、地域や他の株主などの関係者と民営化を踏まえた協議を行いながら、民間譲渡を第一候補として具体的な手続を進める。

＜民間譲渡を進める場合の想定概略スケジュール＞

令和４年１月 株主へ市の方針説明を開始
３月 市保有株の価格算定
４月 株主への保有株に関するヒアリング
６月 公募条件の整理完了、売却先の公募開始
８月 公募締切
９月 優先交渉者決定
１０月 譲渡契約

2 (株)ゆめ企画名立の民営化の検討について

(1) うみてらす名立の指定管理者の公募の結果について

- ・ うみてらす名立の令和4年度以降の指定管理者の選定に際し、10月25日から11月19日までの期間を設け公募した結果、2社から申込みがあった。
- ・ 11月26日に上越市産業観光交流部指定管理者選定委員会を開催し、審査した結果、委員会として選定した候補者は、(株)B J（本社長野市）であった。

【指定管理者候補の概要】

団 体 名	株式会社B J
所 在 地	長野県長野市東和田 857 番地 1
事業内容	① ホールディングス事業（各事業運営に関する継続的な財務支援、バックオフィス体制の提供、運営コンサルティングなど） ② 企業再生M&A事業（事業承継・再編・再生に向けた枠組みの組成並びに関連する事業母体の調整など）
管理実績	子会社と連携して次の施設を管理運営 【直営】 日帰り温浴施設：コトリの湯（長野県長野市） 宿泊施設：ARCADIA～ふたつとない景色～（長野県長野市） 【指定管理】 道の駅：道の駅 中条（長野県長野市） 宿泊施設：やきもち家（長野県長野市） 日帰り温浴施設：大岡温泉（長野県長野市） キャンプ場：飯綱高原キャンプ場（長野県長野市）

(2) (株)ゆめ企画名立の取扱い

- ・ 指定管理者の公募の結果、J-ホールディングス(株)の子会社であり、当市で第三セクター等に位置付けている(株)ゆめ企画名立以外の応募者が指定された場合、当該会社の整理が必要となることから、当該会社以外の申請者に対しては、事業計画の提案において、従業員の雇用確保を前提とした対応について回答を求めた。
- ・ (株)B Jの回答は、「指定管理事業受託後のうみてらす名立の運営を円滑に推進すること、そのための人員確保及び(株)ゆめ企画名立様の従業員の方々の雇用を確保することを主な目的として、J-ホールディングス(株)様が保有する、(株)ゆめ企画名立様の株式100%を譲渡契約締結により当社が取得する」とのことであった。
- ・ 12月9日に開催されたJ-ホールディングス(株)の取締役会において、市から選定委員会の経過を説明するとともに、(株)B Jからの提案について回答を求めたところ、(株)ゆめ企画名立の株式譲渡を前提に検討するとのことであった。
※ 株式譲渡契約が成立すれば、(株)ゆめ企画名立は、J-ホールディングス(株)の子会社から、(株)B Jの子会社となる予定

(3) 今後の手続等について

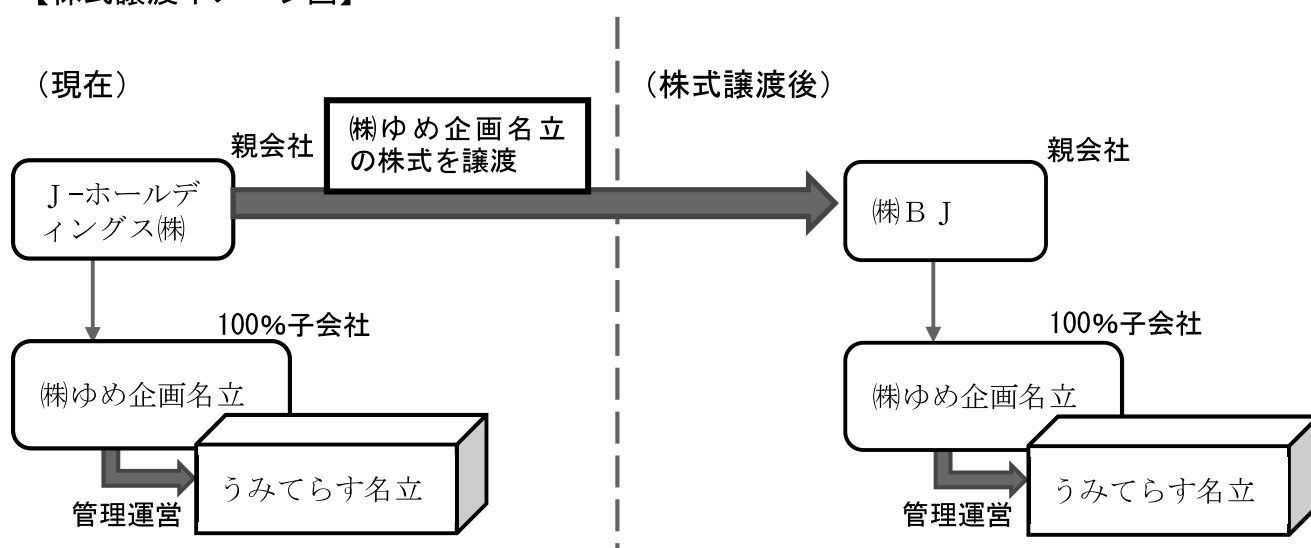
- ・ 市では、選定委員会の選定結果に基づく指定管理者の指定の手続を進めるに当たり、うみてらす名立及び(株)ゆめ企画名立の関係者に対し、(株)B Jの事業計画の概要や(株)ゆめ企画名立の子会社化について説明を行っている。
※ J-ホールディングス(株)、(株)ゆめ企画名立及び同社従業員、うみてらす名立のテナント事業者や施設管理に関わる関連会社、利用者としての地域住民等を対象

- ・ その結果を踏まえ、改めて市として(株)B Jを指定管理者として 3 月の市議会定例会に上程する予定である。
- ・ なお、(株)ゆめ企画名立の株式譲渡は、うみてらす名立の指定管理者に(株)B Jが指定された後に行われることから、指定管理者の指定は、(株)B J と(株)ゆめ企画名立を共同事業体として指定することとし、その後、J-ホールディングス(株)の取締役会決議により株式譲渡契約を決議し、(株)ゆめ企画名立を(株)B J の子会社にする予定である。

【今後のスケジュール（予定）】

時期	内容
R 4. 1	地域等の関係者を対象に、(株)B J・(株)ゆめ企画名立・市合同でうみてらす名立の運営方針等に関する説明会を開催
R 4. 1	(株)B J・(株)ゆめ企画名立共同事業体協定書を締結
R 4. 1～	協定に基づく指定管理業務の準備
R 4. 3	市議会へ(株)B J・(株)ゆめ企画名立共同事業体を指定管理者として上程
R 4. 5	J-ホールディングス(株)取締役会において株式譲渡契約の締結について決議
R 4. 6	株式譲渡契約の締結について J-ホールディングス(株)株主総会で報告

【株式譲渡イメージ図】



(4) その他

- ・ J-ホールディングス(株)については、平成 25 年に 7 つの子会社の持ち株会社として設立したが、この間、(株)キューピットバレイと三和振興(株)が解散し、また、(株)ゆめ企画名立の株式譲渡を進める予定となったことから、今後、持ち株会社化のメリットが発揮できないため、J-ホールディングスグループの解散を含む抜本的な整理を行う。